



中植 昭彦

## 情報漏えいの防止は万全か!!

**問** 行政各種情報処理の効率化を計る上で、コンピュータによる電算処理を行っているが、情報漏えい防止の対策は重要と考えるが認識を伺う。

**答** コンピュータネットワークが一般社会のみならず行政機関にも広く浸透し、情報を扱う利便性は向上してきた。当然、情報管理の徹底も重要である。

**問** コンピュータウイルスの対策について伺う。

**答** ウイルス対策ソフトによる検知、USBメモリーの使用制限を行っている。

**問** 不正アクセスの対策について伺う。

**答** ファイアーウォールやウイルス対策ソフトによる監視、不正アクセス対策を行っている。それから、住民情報を取り扱う総合行政システムと、他の行政機関と連携する

地域イントラネットがあるが、完全に独立したシステムであり、総合行政システムは外部ネットワークから遮断したシステムである。

**問** 外部ネットワークを通じた不正アクセスは防止出来るが、人為的な流出が考えられる。対策について伺う。

**答** コンピュータの立ち上げの時にパスワードを入力する。そのコンピュータではアクセス制限があり、職務上取り扱うことが出来る情報のみアクセス出来る仕組みである。また、情報の取り扱

いのモラルの徹底が重要であると考えているので周知徹底に努めてまいりたい。

**問** コンピュータ本体が盗難にあった場合はどうか。

**答** クライアントコンピュータには情報を置かず、

ファイルサーバーを設置予定である。情報はファイルサーバーにのみ保管することで対応してまいりたい。

**問** 紙メディアを紛失、携帯電話のカメラで撮影したりなど情報漏えいのリスクは多い。考えを伺う。

**答** 重要書類、情報の管理徹底に努めてまいりたい。

**要望**  
一度情報漏えいすると、回収は難しい。また行政に対する信用が失墜してしまう。情報管理には万全を期してほしい。



## 一般質問



原田 健志

防災・危機管理について

**問** 消防無線デジタル化関連の現状は。

**答** 消防関係の無線は平成28年にデジタル化する。豊能地域3市1町の常備消防署において消防指令系統の一本化の話と共に、消防無線を合同で出来るか検討されている。能勢町としてはこういった協議会に合同させていたきたいと申し入れを行っている。

**問** 広域消防化の現況は。

**答** 広域消防は、大阪府の推進計画に基づいて北摂7市3町で構成する北部ブロックとして数々の検討を重ねていた。

課題の整理をしている中で、前知事により大阪消防庁構想が浮上した動向を注視する必要もあり、平成22年3月で北部ブロックの広域化の検討会は一旦休止している。



## 一、防災・危機管理について 二、教育について

教育について

**問** 消防デジタル化、指令系統の一本化と、広域消防実現の関連は。

**答** 無線のデジタル化、消防司令系統の一本化と広域消防は別の話と考

**問** 昨今、自転車マナーについて厳しい目が向けられつつある。子ども達の自転車通学について、今まで以上にしっかりと指導をしていく事も必要と考えるが、

**答** 中学校では、年度初めに交通安全指導を実施。また、現場において保護者の協力を得て交通立ち番を実施しながら指導をしている。

特に必要のある時は、豊能警察の協力で指導もしている。

歩道の通行に対しては、法令順守するよう、車道通行を指導しているが、画一的な指導だけでなく、より安全な自転車通学ができるよう、地域の方々にも協力いただきながら、今後とも指導していく考えである。